

員として同種の職務に在籍した期間も通算し、大町町会計年度任用職員の給与に関する規則の規定に従い、一般の職員同様に昇給しています。

大町町の消防団員数は保たれているか

藤瀬 都子

議員 総務省消防庁の消防団員は少子高齢化や会社勤めの増加を背景に減少傾向にある。消防庁は入団促進のため昨年4月年額報酬の標準額を示し、各団体に今年4月までに標準額以上とするよう求めています。大町町は3万6500円の標準額に届いています。また出勤報酬の8000円は満たしています。これは団員に対して直接支給されています。また消防団員促進キャンペーン等もあります。行政として取り組みを促進することは考えられませんか。

総務課長 大町町の現在の団員階級の団員はおよそ

120名です。本町の人口規模では、交付税算定の基礎としては、団員数は30名分で算定されています。

現在の制度では、交付税措置を勘案しても、消防団の組織率が高い団体ほど一般財源の負担が増加し、標準額を満たすことが困難になっています。報酬の引き上げについては、国及び県に対し、さらなる財源の措置を要望しながらも、近隣市町の動向を確認しながら検討していきます。

報酬や費用弁償の支払いについては、現在は副部長以下の団員分は各部に一括して支給していますが個人への直接支給については、すでに消防団と協議を始めています。団の意見も尊重しながら検討していきます。団員の確保については条例定数は230名です。令和4年4月1日現在の団員数は197名で定数からは33名少ない状況です。

佐賀県では新聞やテレビCMを活用し消防団員への

理解を広げる取り組みとして消防団員の活動を紹介する消防団応援キャンペーンを展開しています。知事は消防団員確保や活動の充実に向け、県内企業に協力を請ると言及されており、企業のご理解、ご協力に期待しているところです。

この事業に若手団員の出演をあっせんし、消防団の意義や大切さを団員としてのやりがいなどを語ってもらい、新規消防団員確保に努めているところです。

ごみ問題を考える

議員 ごみ袋には、燃えるもの、燃えないもの、カン、びん専用とペットボトルを入れる袋の5種類がありますが、その袋が有効に生かされているか疑問に思っています。特に燃えないごみ袋の利用が問題に思います。燃えないごみ袋だから何もかも一緒に入れるのは選別をする人の事を思いやる必要があると思います。

町より配布のごみ分別

カレンダーには守るべき注意点が書いてありますが、オレンジの燃えないごみ袋の利用が一番問題に思っています。ガラス、びん、カンは中を空にする。リサイクル出来るものは、分別を徹底して町の収入になるよう協力することは大切ではないでしょうか。きちんと分別して出すと1回のごみの量も減少します。町としてのリサイクル率も上がると思っています。

生活環境課長

大町町ごみ分別カレンダーを作成し配布しています。燃えるごみ、燃えないごみ等の区分ごとに収集曜日、内容、種類、守るべきことを記載し、周知を図っています。

町報のくらしのカレンダーでも収集日をお知らせしています。燃えないごみ袋の中にリサイクル可能なカン、びん等を混在させ搬出されているものも一部見受けられます。

資源ごみの収集については、町の収集のほか、ひじ

り学園に回収ボックスを設置していることから、ほかの公共施設にも資源物回収ボックスを設置するよう検討したいと思います。

使用済み小型家電については、役場、町公民館に持ち込めば、無償での引き取りが可能で、かつリサイクル率も上がりますので、別途回覧で周知していきたいと思えます。

引き続き町報等での啓発活動を行い、町収入の増加及びリサイクル率の向上を図っていききたいと思います。

